

地域・学校・家庭が手を携えて支え合う学習会「2024 八日市キッズ夏休み学習会」

東近江市	活動名：八日市キッズ夏休み学習会	箕作小学校、八日市北小学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：八日市コミュニティセンター 年間開催日数：4日(夏休み開催) 平均参加人数：25人 ・活動内容： ☒ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☒ スポーツ ☒ その他(レクリエーション) ・教室の持ち方： ☐ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他() ・スタッフの属性： ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☒ 元教職員 ☒ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☒ その他		

■ 活動の概要

地域の児童の夏休み宿題を、地域住民と高校生ボランティアが支援する。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

学習の合間に「ジャンケンゲーム」や「ジャズダンス」、「ピアノ演奏」、「絵本の読み語り」などを取り入れて、活動にメリハリをつける。

事前に、元教職員が高校生ボランティアにガイダンスを実施する。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

学校を通じ、参加募集のチラシを児童全員に配布する。取組状況を逐次校長に報告し、指導助言を受ける。

地元高校に、高校生ボランティア募集の協力を得る。

■ 事業の成果と課題

4日間で延べ101名の児童の参加があった。コロナ禍を挟んで7回目の開催となり、活動が定着してきた。子どもの居場所であるとともに、異世代交流の機会にもなっている。送迎が難しい家庭もあり、自治会レベルの活動にも期待したい。



【 学習の様子 】

報告書記入者(協働活動リーダー)

わかった！できた！～地域の人々と学ぶ学習会～

東近江市	活動名：みなみっこがくしゅう会	八日市南小学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：南部コミュニティセンター 年間開催日数：6日(夏休み4日、冬休み2日) 平均参加人数：20人 ・活動内容： ☒ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他() ・教室の持ち方： ☐ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他() ・スタッフの属性： ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☒ 元教職員 ☒ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☒ その他		

■ 活動の概要

・長期休業中に学習の場を設定し、休業中の課題や自主学習等の支援を行うことを通じて学習習慣を身につける。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

・学年によって部屋を分けて実施している。

・まちづくり協議会と連携した活動としている。地域住民のほか、近隣の高校生によるボランティアにて学習支援を行っている。

・学習活動のみでなく、時期に応じて交流的な活動も取り入れている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

・学校との連絡を密にして実施している。また、学校の先生に学習会を見に来ていただいている。

■ 他事業との関わり

・南部地区まちづくり協議会の事業と共同実施している。ボランティアの募集だけでなく交流活動の用品やボランティアへの対応等に支援をいただいている。

■ 事業の成果と課題

・学習会の最終日に交流活動を行っていることもあって、子どもと大人の関係がよく和やかな雰囲気での学習ができている。子どもに家族、先生以外の大人が関わるよい機会となっている。

・学習会が必要な児童へ参加を促したいが、具体的な対応はできていない。今後検討していきたい。

・学校の学習形態が、タブレット等の情報機器を使うようになっている。休業中の課題も従来のワークシートから機器を用いたものになりつつある。今後その対応も必要になると思われる。



【 学習の様子 】

報告書記入者(生涯学習課 指導主事)

楽しい夏休み！ 地域に子どもの居場所を！

東近江市	活動名：子どもの居場所	湖東第一小学校、湖東第二小学校、湖東第三小学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：湖東コミュニティセンター、小学校体育館等 年間開催日数：10日(夏休み10日) 平均参加人数：20人 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員数：3人(兼務1人) 平均スタッフ数：3人 ・活動内容： ☒ 学習支援 ☒ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☒ スポーツ ☐ その他() ・教室の持ち方： ☐ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他() ・スタッフの属性： ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☐ 元教職員 ☒ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO等関係者 ☒ その他		

■ 活動の概要

・湖東中学校区の3小学校の児童を対象に、コミュニティセンター、小学校体育館を活用して学習支援や体験活動を実施した。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

・子どもたちに学習支援や体験活動を提供するのではなく、子どもたちが主体的に活動内容を考えて学習や体験活動に取り組むようにする。そのため、学習や体験活動の環境を整えるが、なるべく子どもたちの主体性に任せた取組を実施する。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

・子どもたちが1日過ごすため、学習のほか、様々な体験活動を実施している。

■ 他事業との関わり

・地域の団体に子どもたちの見守りや体験活動の指導を依頼している。

■ 事業の成果と課題

・昨年度に夏休みに子どもの居場所を作ることはできないかということで、まちづくり協議会が関わって放課後子ども教室がスタートした。10日間子どもたちは学習、体験活動に取り組み、子どもたちの居場所としてだけでなく、学びの場としても大変有意義な教室となった。



【 木工細工に親しむ 】

報告書記入者(生涯学習課 指導主事)

地域で子どもと大人が交流する、わくわく楽しい「夏休み勉強会」

東近江市	活動名：わくわく夏休み勉強会	五個荘小学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所：五個荘コミュニティセンター 年間開催日数：4日(夏休み開催) 平均参加人数：29人 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員数：2人 平均スタッフ数：8人 ・活動内容： ☒ 学習支援 ☒ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他() ・教室の持ち方： ☐ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他() ・スタッフの属性： ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☒ 元教職員 ☒ 地域住民 ☒ 大学生 ☐ NPO等関係者 ☒ その他		

■ 活動の概要

・子どもたちの学習の場、地域の大人と子どもの交流の場を作り出すことを目的に開催している。五個荘地区に在住の小学1年生から6年生までを対象に募集をした。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

・夏休みの宿題等に取り組む学習の時間以外に体験活動の時間を作っている。体験活動の時間には、様々な体験活動を実施した。
・4日目には、名古屋市科学館にて館外研修を行った。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

・学校と五個荘コミュニティセンターが連携して、各学年のドリルを学習教材として準備した。

■ 事業の成果と課題

・地域の方々子どもたちとの交流ができた。
・各学年の夏休みドリルの答えを学校に準備してもらったことで、丸付けができた。



【 学習支援の様子 】

報告書記入者(生涯学習課 指導主事)

地域で学び、地域で育つ「市原っ子」の明るく楽しい共同学習の場

東近江市	活動名:市原小学校放課後子ども教室「まなびい」	市原小学校	学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所:市原小学校ランチルーム		開始年度:平成 25 年度	
年間開催日数:13 日(開催ペース:月1日)		地域学校協働活動推進員数:2人	
平均参加人数:15 人		平均スタッフ数:6人	
・活動内容: ☒ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☒ その他(タブレット学習)			
・教室のもち方： ☒ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他()			
・スタッフの属性: ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☐ 元教職員 ☒ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☐ その他			

■ 活動の概要

- ・1年生～3年生は前半 16:00～17:00 保護者送迎
- ・4年生～6年生は後半 17:00～18:00 保護者送迎
- ・前半 30 分は宿題や自主学習、読書をして、後半 30 分はタブレットで学習をする。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

- ・『まなびい ふりかえりカード』に「今日のめあて」を記入して学習に取り組む。
- ・終了時、児童は「まなびいふりかえりカード」に成果などを記入する。
- ・児童が主体的に学習内容を決めている。支援者は必要な時に寄り添うのみ。
- ・タブレットでの学習を個々に積み上げている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・要請はしていない。一般教職員は適宜自由に児童の様子を見に来る形。
- ・管理職・事務職員が学習支援やタブレット学習の準備、後始末など行っている。

■ 事業の成果と課題

- ・「まなびい」の日を楽しみにして、参加申し込みを継続している児童が多い。
- ・児童は「小学校は学びの場」と認識しているので、主体的に学習を行っている。
- ・低学年と高学年の人数に差があり、低学年の児童の学習補助に人手が足りない時がある。



【 放課後子ども教室まなびい 】

報告書記入者（校長）

みんなでわいわい楽しくにほんごのしゅくだいをしよう！

東近江市	活動名：マナビーみその	御園小学校	学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所:御園コミュニティセンター		開始年度:令和4年度	
年間開催日数:2日(夏休み1日、冬休み1日)		地域学校協働活動推進員数:1人	
平均参加人数:5人		平均スタッフ数:5人	
・活動内容　　: ☒ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他(　　)			
・教室の持ち方　: ☐ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他(　　)			
・スタッフの属性: ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☒ 元教職員 ☒ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO等関係者 ☐ その他			

■ 活動の概要

- ・御園小学校に通う、外国にルーツのある児童を対象に学習支援を行う。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

- ・地域の方(元教職員等)の協力を得て、日本語が十分に習得できていない児童に少人数で日本語の学習や宿題等の学習支援を行う。
- ・ゲームなどを行って、子どもと大人が交流する機会をもっている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・学校関係者も参加して共通認識の上で連携して実施している。

■ 他事業との関わり

- ・校区内で実施されるまちづくり協議会等のイベントへの参加を促すために関係するチラシを配布している。

■ 事業の成果と課題

- ・児童に丁寧に個別支援することで、次学期に向けて学習意欲の動機づけとなっている。また地域住民の交流機会にもなっている。



【 学習の様子 】

報告書記入者(生涯学習課 指導主事)

夏休み宿題教室

東近江市	活動名：夏休み宿題教室	湖東第二小学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：湖東第二小学校多目的室 年間開催日数：2日(夏休み開催) 平均参加人数：8人		開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員数：1人(兼務1人) 平均スタッフ数：3人
・活動内容： ☒ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他() ・教室の持ち方： ☐ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☐ 長期休業日実施 ☐ その他() ・スタッフの属性： ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☐ 元教職員 ☒ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☐ その他		

■ 活動の概要

ボランティアによる夏休みにおける学習支援を実施している。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

常日頃、読み語りや授業支援で子どもたちに関わっている地域ボランティアが学習支援をしている。子どもたちと関係性ができているので和やかな雰囲気で行っている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

教職員が子どもに声をかけに来てくれる。

■ 事業の成果と課題

宿題教室を実施することで、子どもたちの学習意欲が高まったと感じている。

また、夏休みの初めのうちに実施することで、子どもたちに宿題に取り組む見通しを持たせることができた。



【 夏休み宿題教室 】

報告書記入者(生涯学習課 指導主事)

子どもも保護者もほっとする場所 放課後子ども教室ぽればれ

東近江市	活動名：放課後子ども教室ぽればれ	八日市北小学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所：つどいの広場ぽればれ 年間開催日数：40日(開催ペース：毎週金曜日) 平均参加人数：12人		開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員数：1人 平均スタッフ数：2人
・活動内容： ☒ 学習支援 ☒ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他() ・教室の持ち方： ☒ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他() ・スタッフの属性： ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☐ 元教職員 ☒ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☐ その他		

■ 活動の概要

- ・毎週金曜日の下校後から18時まで学習支援と体験活動を実施している。
- ・保護者の了解のもと、学校が終わってから直接通うこともできる。帰りは保護者の迎えをお願いしている。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

- ・前半は宿題に取り組むが、後半では毎回体験活動を実施している。
- ・天気の良い日には公園に出かけて、自然に触れあう活動を行っている。
- ・つどいの広場に幼少期通っていた児童も参加している。保護者もその頃から付き合いがあり、何かあれば子どもも保護者も気軽に相談できる。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・学校には下校してそのまま通う児童を把握していただいている。

■ 他事業との関わり

- ・同会場でつどいの広場を実施しており、0～2歳児との交流を行っている。

■ 事業の成果と課題

- ・今年度から始めたが、子どもにも保護者にも好評で来年度も継続したいと考えている。
- ・今年度並みの活動を実施するならば、スタッフの数を増やす必要がある。



【 教え合って宿題をする様子 】

報告書記入者(生涯学習課 指導主事)

夏休みだ～!! あかねっこ（蒲生の子ども）あつまれー！

東近江市	活動名：夏休み勉強会	蒲生東小学校・蒲生西小学校	学校運営協議会： ☒ 有(東小) ☐ 無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター		開始年度：令和6年度	
年間開催日数：夏休み5日間		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：20人		平均スタッフ数：6人	
・活動内容： ☒ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☒ その他(ゲームなど)			
・教室のもち方： ☐ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他()			
・スタッフの属性： ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☒ 元教職員 ☒ 地域住民 ☒ 大学生 ☐ NPO等関係者 ☒ その他			

■ 活動の概要

・長期休業中の学習支援(夏休みの宿題など)を通じて、地域の高校生・大学生・大人との交流を図る。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

・地域で子どもの活動をしている団体・大学生・高校生・元教職員にも学習支援に来てもらっている。勉強タイムの後、そのスタッフとともに「遊び」を取り入れている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

・募集チラシも学校で配布してくださった。
・学校の先生も様子を見に来てくださっている。

■ 他事業との関わり

・蒲生地区地域教育協議会、青少年育成市民会議蒲生支部のスタッフとともに実施

■ 事業の成果と課題

・学習支援終了後におやつタイムと「あそび」を取り入れ、支援に来てくれた大人や高校生、大学生と一緒に楽しく遊んでいる姿が良い。こうした斜めの関係が得られる「勉強会」は継続するべきだと感じた。子どもたちも、来た時、帰るときにしっかり挨拶もできるようになり、回を重ねるごとにスタッフと打ち解けている。



【 学習の様子 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

夏休みだ～!! あかねっこ（蒲生の子ども）あつまれー！

東近江市	活動名：宿題の日	蒲生西小学校・蒲生北小学校	学校運営協議会： ☒ 有(北小) ☐ 無
主な活動場所:長峰コミュニティセンター		開始年度:令和6年度	
年間開催日数:夏休み5日間		地域学校協働活動推進員数:2人	
平均参加人数:45人		平均スタッフ数:7人	
・活動内容: ☒ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☒ その他(ゲームなど)			
・教室のもち方 : ☐ 平日放課後実施 ☐ 土曜日実施 ☒ 長期休業日実施 ☐ その他()			
・スタッフの属性: ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☒ 元教職員 ☒ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO 等関係者 ☒ その他			

■ 活動の概要

・長期休業中の学習支援(夏休みの宿題など)を通じて、地域の高校生・大人との交流を図る。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

・勉強後に地域で行われるイベントの飾りつけや、つどいの広場えがおの看板づくりを実施した。物を創る過程を経験することで子どもの成長を見ることができる。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

・募集チラシも学校で配布してくださった。
・学校の教職員も見に来てくださっている。

■ 他事業との関わり

・つどいの広場えがおのスタッフ、まちづくり協議会のスタッフ、長峰連合自治会

■ 事業の成果と課題

・大きな団地の中で実施することで蒲生西小と蒲生北小の子どもたちの交流も見られた。
・毎回40人を超える子どもたちが来てくれたので、地域の人にもう少し声掛けをして見に来てもらってもよかったが、平日実施のためなかなか難しいと感じる。



【 宿題後のおたのしみ！？ 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

外国にルーツがある子の居場所

東近江市	活動名：日本語学習会なかよし	東近江市内小中学校 学校運営協議会： ☐ 有 ☒ 無
主な活動場所:東近江市文化交流センター 年間開催日数:35日(開催ペース:毎週土曜日) 平均参加人数:8人 開始年度:平成28年度 地域学校協働活動推進員数:1人 平均スタッフ数:7人 ・活動内容： ☒ 学習支援 ☐ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他() ・教室のもち方： ☐ 平日放課後実施 ☒ 土曜日実施 ☐ 長期休業日実施 ☐ その他() ・スタッフの属性: ☐ 企業関係者 ☐ 行政職員 ☐ 元教職員 ☒ 地域住民 ☐ 大学生 ☐ NPO等関係者 ☐ その他		

■ 活動の概要

- ・長期休業日を除く毎週土曜日の午後2時から午後4時まで学習会を開いている。
- ・市内小中学校に通う外国にルーツのある児童・生徒への学習支援を実施している。
- ・学校の宿題の他、学習プリントを用意して、学習支援を行っている。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

- ・参加する児童・生徒に応じた学習支援を実施している。
- ・学習支援が主たる目的であるが、子どもたちがホッとできる場所になるように協働活動リーダーは関わるようにしている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・日本語を学習したい児童・生徒がいる場合には、学校から本学習会を紹介してもらうことがある。

■ 他事業との関わり

- ・1月から3月までは外国にルーツのある未就学児を対象としたプレスクールも実施している。

■ 事業の成果と課題

- ・個々の課題に応じた学習支援によって、課題克服が達成できている。
- ・参加した子ども同士につながりが生まれて、子どもたちのよい居場所となっている。



【 学習の様子 】

報告書記入者(生涯学習課 指導主事)